

「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集：FXニュースレター

執筆担当：斎藤登美夫



◆◆◆ No.0792 ◆◆◆

24/06/05

【 5月のドル/円月間変動は大きかったが… 】

先週末終了した5月のドル/円相場、その月間変動幅は6.12円だった。月間で9円以上動いた前月には及ばなかったが、それでも4月、1月に次ぐ今年3番目の変動を観測している。しかし、5月相場をさらに詳細に見てみると月間高値(157.98円)を付けたのは5月1日で、同じく月間安値(151.86円)を記録したのは同3日だった。つまり、月初めの数日間こそ大きな動意を示したものの、以降月末にかけては鳴かず飛ばず。ぱっとしなかったというのが正直なところだろう。果たして、足もとの6月相場で動意が復活するのか否か注目だ。

◎動意復活を期待したいが、最悪「154-156円」中心のレンジ取引も

当レポートでは、月初恒例となっている過去の経験則から見た月間見通しを報じてみたい。まずは恒例となっている月間の星取表から見てみると、過去の6月ドル/円相場の勝敗は1990年以降昨年までの34年間で20勝14敗。極端に偏っているわけではないが、約6割程度の確率で若干ドル高が有利という結果になっている。また、2020年以降昨年まで4年連続でドル高・円安に振れていることも、気になるポイントかもしれない。足もとは逆方向に振れているが、最終的には今年もドル高有利に!?

そんな6月相場には興味深いポイントが別途2つある。うちひとつは、「動くか動かないか、両極端になりやすい」傾向がうかがえること。ちなみに、「もっとも動いた」事例のみを以下で挙げれば、1カ月のあいだに13円以上も動いた1998年(高値146.75円、安値133.60円)になるだろう。先で指摘した、5月途中から失速している動意の復権を是非とも期待したいところだ。

とは言え、もちろん月間を通して逆に「まったく動かない」というケースも少なくない。比較的最近の事例を挙げても2018年の月間変動は2.21円、2019年は同2.02円、2021年は同1.94円—となっている。最悪のケースでは、154-156円あたりを中心とした往来相場をたどる可能性も否定できない。

一方、6月相場におけるもうひとつのポイントは、「6月相場とその翌月、7月相場は逆に動きことが多い」こと。こちらは過去10年で8回がパターンに合致している。足もとの6月、「ドル高 or ドル安のどちらに動く可能性が高い」という話ではないものの、月の終わりに掛けては来月に向けてのポジションメイクとして、当月と異なる「逆張り」がヒョットすると望ましいという話になるのかもしれない。

最後に、6月を「アニバーサリー」の観点、過去の出来事・ニュースなどで見てみると、なかなか興味深いことが幾つかうかがえる。その最たるものは「英国を含めた欧州に関し、重要な出来事が起こりやすい」ということだろうか。

具体的には「欧州通貨制度・EMSを再調整(1982年)」、「デンマークでマーストリヒト条約批准を否決(1992年)」、「フランスに続きオランダもEU憲法批准せず(2005年)」、「アイルランドがリスボン条約の国民投票を否決(2008年)」、「ECBが初のマイナス金利を導入(2015年)」、「英国が国民投票でEU離脱を決定(2016年)」—などとなる。

もちろん、毎年確実に起こるものではないことは承知しているものの、先週レポートしたように6月6-9日に「EU議会選」、そして7月4日に「英総選挙」が予定されており、ともに議会で多数を占める既存政党の苦戦が予想されている。とくに後者、英総選挙についてはロイターがすでに「野党・労働党が圧勝へ、保守党は1906年以来の大きな敗北となる見通し」—と報じていた。

また、それとは別に提供した武器のロシア領への使用について、頑なに拒否していた米国やドイツなどが制限を緩和。同時に不足していた弾薬などがウクライナへと届きつつあることで、今後の大反撃を期待する声なども聞かれていた。6月はロシアによるウクライナ侵攻を含めた、広義の欧州情勢で大きな動きがあっても不思議はないように思っている。(了)



当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。
なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。



Copyright (C) fx-newsletter limited company All Rights Reserved



FX-newsletter